

《看護職員の勤務状況》

- ・183床
- ・2交代勤務
- ・看護師 126名／准看護師 5名

《目的》

看護職員の負担軽減及び処遇の改善については、これまで鋭意努めてきたとこれであるが、急性期医療を担う当院における看護職員の労働環境は、他医療機関と同様に慢性的な人員不足である。  
看護職員にとって魅力ある職場環境を実現することにより、離職者を減少させ、新卒者、既卒者から「選ばれる病院」とならなければならない。  
本計画は、『思いやりのある あたたかい医療』を提供するために、看護職員が心身ともに健康で職務を遂行することができる環境整備を推進することを目的とする。

《看護職員の負担軽減に係る目標及び達成度の評価》

項目	現状及び方針	具体的計画	現状		達成状況	
			2025年4月		2026年3月	
多職種による負担軽減	多職種へのタスクシフト	医師の指示のもと、看護師による薬剤管理を薬剤部へ、採血業務の一部を検査科に移行する	<input checked="" type="checkbox"/>	業務分担検討中	<input type="checkbox"/>	
11時間以上の勤務間隔の確保	11時間以上の勤務間隔は確保できているがより働きやすい環境改善のため積極的な看護師の採用。急性期で勤務する夜勤看護師の採用。	・看護就職説明会の実施 ・潜在看護師の獲得 ・紹介業者による採用 ・看護職員夜間配置加算の取得(夜間3名配置)	<input checked="" type="checkbox"/>	急性期で対応可能な看護師を募集中	<input type="checkbox"/>	
看護補助業務のうち5割以上が療養生活上の世話	5割以上は達成しているが、より働きやすい環境のため積極的な病棟クラークの配置	病棟クラークを各病棟に配置し、看護補助の業務を軽減する	<input checked="" type="checkbox"/>	採用募集研修継続	<input type="checkbox"/>	
みなし看護補助者を除いた看護補助者比率5割以上	看護補助者の積極的な採用	・看護補助者の採用を積極的に行い看護職員の業務負担の軽減化を図る ・看護補助者を質、量ともに拡充 ・歯科衛生士を募集	<input checked="" type="checkbox"/>	採用募集研修継続	<input type="checkbox"/>	
院内保育所の継続	育休明けに安心して働くことができるよう0歳児から就学前までの幼児と学童を対象とした24時間対応の院内保育所を設置している	・夜間保育の実施 ・学童保育の実施	<input checked="" type="checkbox"/>	継続	<input type="checkbox"/>	
年休取得率の向上	公休数が増えたが、昨年と同様の有給取得率の維持 アニバーサリー休暇の取得	・看護職員の増員 ・運用等を見直し、有休を取得し易い職場環境を再検討する	<input checked="" type="checkbox"/>	取得率向上のため、運営方針の掲示	<input type="checkbox"/>	
施設の効率的な利用	電子カルテも導入し、より効率的な環境を構築する	より効率的な電子カルテの運用	<input checked="" type="checkbox"/>	継続	<input type="checkbox"/>	